

未来へ(東中だより)

第16号 令和4年12月23日

吉野ヶ里町立東脊振中学校 校長 森田 直樹

学校教育目標 未来へ
「知性・感性・耐性」を
共に高める生徒の育成



TEL:0952-52-2529 Fax:52-8184

<https://www.education.saga.jp/hp/higashifuri-j/>

山茶花のように生きる 2学期終業式の話から

南の校門から入ったすぐ右手に山茶花(サザンカ)の花が咲いています。鳥で受粉をする鳥媒花である山茶花は、木の実の少なくなった冬の鳥たちにとって、花の蜜を吸うことのできる大切なよりどころとなっています。

先日読んだ「ひたむきに」という小説に「山茶花」という言葉が何度も出ていました。登場人物である侍は、勘定奉行配下の役人でした。役所内の不正を訴え出たところ、逆に濡れ衣を着せられて処分され、さらに罠にかかって仕事をクビになり浪人暮らしを余儀なくされます。傘はりの仕事をしながら細々と暮らす中、同じように大きなお店をやめた隣部屋の住人を気に掛けます。その住人は、自分が罠にはまってお店をやめさせられたことを知り、悪党の一味に加わってお店への強盗に手を貸そうとします。侍は隣部屋の住人に言います。「冬の寒い中、山茶花は強く咲き誇っているのだ。今度、どこぞの庭でも山茶花を見てみる。美しいと思うはずだ」と。腐らず真面目に生きていれば、そこに幸せが訪れるということを説いていました。

物語を詳しくは語りませんが、侍にとっても隣の住人にとっても、よい結末が待っていました。そこには、正義や良識を持った周りの人々の助けがありました。やはり「信じて耐える」ということは大切である、と思いました。特に3年生にとっては、この冬がつらく厳しいものであるかもしれません。しかし、その先には暖かな春が待っています。我慢強く、粘り強く努力して、自分の道を切り開いてください。



みんなで人権ウィーク

12月12日(月)～16日(金)は本校の人権ウィークでした。生徒の実行委員会と人権・同和教育担当が連携して、「だれもが認められ、大切にされる社会」のために以下のような取組を行いました。

- ① 人権標語…各自が人権についての思いを標語にしました。
- ② 人権放送…人権啓発の呼びかけ・作文朗読
人権ソングの放送
ラジオ番組「明日への伝言板」
- ③ 読み聞かせ…ましろの会の方々に、人権に関わる題材の絵本を選んで、読んでいただきました。
- ④ 人権集会の開催
・人権標語…人権標語をPTA役員に選定していただき、入賞作を紹介しました。
・人権作文…各学年1名による朗読
1年 山口実希さん
2年 池田和香さん
3年 原 優佳さん
・性の多様性について…生徒会役員による説明
・「いじめ防止宣言」…全生徒による唱和
・校長先生の話(zoom 参加)



さて、京都清水寺で書かれた今年の漢字は「戦」でした。

ウクライナをはじめ世界で紛争が起きました。また、サッカーW杯などの「熱戦」も記憶に新しいです。

戦うべき相手は、まず自分ではないでしょうか。

<人権標語 校内入選> (3年生)

- よく見よう 人をいじめて いないかな (鶴崎生真)
- 周りだね 見ているだけでも 加害者だ (中山 允)
- 考えよう 相手の気持ちとその言葉 (田中健太郎)
- 無意識に 悪口たたくと 加害者に (久野双葉)
- 気づいてよ 泣いてるあの子の 心の声(筒井美空)
- いじめダメ 相手の人権 守ろうよ (原口ひより)
- 見て見ぬふり気づかないふり やめようよ(廣瀬結空)
- 声かけて 友達の輪を 広げよう (石川和樹)
- 見てたのに 見て見ぬふりをしないでよ (荒木陽翔)
- 考えよう 人がきずつく 嫌言葉 (中村颯希)
- 見てるだけ それでもあなたは罪になる (久野壮介)
- 自分が言った一言一言に責任もて (陣ノ内すみれ)

※1, 2年生は裏面に掲載しています。

東脊振中学校「いじめ防止宣言」

- 一、いじめは絶対に許しません。見過ごしません。
- 一、自分にできることを考え、勇気をもって行動します。
- 一、みんなが安心して過ごせるような環境づくり、雰囲気づくりをします。
- 一、言葉の重みを考え、温かい言葉をかけます。
- 一、一人ひとりの人権を尊重します。

授業研究の取組

12月9日の「小中連携による学力向上推進地域指定事業」の研究発表会を終えて、本校では2年間の校内研究のまとめの取組を行っています。

12月14日の校内研究会では、「授業実践部会」において、「めあて・まとめ・振り返り」の質の高まりがあったか、基礎学力を定着させる手立ては効果的にできているかなどについて協議しました。



「家庭学習部会」では、家庭学習のためのナビゲーションシートの活用や保護者との連携について話し合いました。

「学習環境部会」では、フォーサイト手帳の活用状況、アンケートの結果分析、月1満点テストの状況について話し合いました。先日の月1満点テストの教科は国語でしたが、3年生の満点者が約65%と頑張りを見せていることが報告されました。

研究発表会を終えたものの、熱い議論が交わされており、研究発表会がゴールではなく、今後生徒の学力をいかに高めていくかを考える新たなスタート地点となったと感じています。

ウクライナ支援募金

佐賀県海外子女教育・国際理解教育研究会のウクライナ支援募金に本校の職員も協力し、AAR Japan 佐賀支部に、合わせて14,297円の寄付を届けました。



AAR Japan (認定 NPO 法人 難民を助ける会)

では、ウクライナ国内外で①避難民への食料や日用品の配布、②地雷・不発弾の対策、③障がいのある避難民への支援などを主に行っています。また、県内の小中学校で国際理解に関する教育プログラムも実施しているということです。本校の人権集会でも講話を行ってもらう予定でしたが、コロナ対策のため、今回はかないませんでした。困っている人々に手を差し伸べることが

今後の予定

| | | | | |
|--------|--------|---------|--------|-------------|
| 12月23日 | 2学期終業式 | 25日 | 冬季休業開始 | |
| | 28日 | 仕事納め | 29日 | 学校閉庁(～1月3日) |
| 1月1日 | 祝 元旦 | 9日 | 祝 成人の日 | |
| | 10日 | 3学期始業式 | 給食開始 | |
| | 11日 | 3年課題テスト | 12日 | フッ化物洗口 |
| | 16日 | 各部委員会 | 18日 | 生徒集会 |
| | | | 15日 | 県下一斉部活動休養日 |
| | | | 19日 | 私立前期入試・推薦入試 |

<人権標語 校内入選>

(2年生)

- いじめは 傍観者だって 同じ罪 (光益優士)
- 心を貫く 悪口の矢
心を守る 助けあいの盾 (中村太翼)
- 遊んでる 一回見ただけで言い切れる? (池田理央)
- 「いじめ」こんな言葉は なくしちゃえ (中島菜奈)
- 助けてよ 「助けてあげる」って本当なの (宮崎尚子)
- 笑っても 心の底は 泣いている (香田海人)
- みんなして見て見ぬふりは いじめだよ (堀田憲生)
- いじめはね 小さな手でも 救いの手 (柿添紗季)
- やめとけば その一言が 助けになる (門田大翔)
- 先生は 気づきたくても 気づけない
まずは一步 …「あの…先生」 (井上陽和)
- 覚えてる? されたほうは 忘れない (西村成未)

(1年生)

- 言葉には 注意書きが 必要なのか (今泉優杏)
- いじめっこ 弱いやつほど 群がるよ (北島蒼空)
- SOS たよっていいよ 私たちに (中島彩花)
- このいじめ 終わらせにきた
わたしがね (中島北翔)
- 気づこうよ 周りを見て 行動を (森山夏帆)
- 心の盾 うちやぶるのは いじめの矢 (牟田安那)
- いじめとは 心に刺さる あくまの矢 (平尾晃士)
- そのいじめ 知らないふりせず 助けよう (山口実希)
- すぐ相談 その言葉が キーワード (大園 力)

<表彰 おめでとう>

- 全九州卓球選手権大会
佐賀県予選 第3位 女子卓球部
- 吉野ヶ里町少年の主張大会
1年 優良賞 牟田安那 中尾真菜
2年 最優秀賞 北嶋蒼一郎 優秀賞 福島颯世
- 佐賀県中学校バドミントン新人大会
第3位 湯田隼士
- 神埼市郡剣道段級別選手権大会
女子初段の部 準優勝 2年 長野望虹奏
- 佐賀県中体連表彰
模範競技者賞 女子バレーボール部 大園樹璃



人権啓発パネル展示

